

■ 「水辺のいきもの観察会」

日 時／平成 26 年 5 月 10 日（土） 10：00～12：30 天候／晴れ

場 所／桜之宮公園 大阪ふれあいの水辺

スタッフ／7名

参加者 /大人 4 名、子供 2 名 計 6 名

観察内容／爽やかな五月晴れの青空のもとでの観察会となりました。まずは、砂浜での貝さがしから始めました。砂を掬ってみると薄茶色のタイワンシジミがいました。水底には何やら筋が見えます。それをたどっていくと、イシガイやヒメタニシがいました。イシガイは後で運動会をするので、元気そうなのを拾って砂浜に並べてもらいました。



次に、ふれあいの水辺の北側にある未整備の川辺に向かいました。そこには、前日にカニ網ともんどりを仕掛けておきました。引き上げてみると、



カニ網にはクサガメが 3 頭入っていました。このあたりではミシシッピーアカミミガメがよく日向ぼっこをしています。アジをえさにしたカニ網に入っていたのは、クサガメでした。魚のもんどりには蛹粉を入れておいたのですが、何も入っていませんでした。もんどりを仕掛ける場所などに工夫が必要だと思いました。岸近くには大きなドブガイも見られ、落ちているドブガイやイシガイの貝殻の内側の真珠光沢を観察してもらい、シジミの貝殻との違いを見てもらいました。このあたりではクロベンケイガニやクサガメの子供も見つかりました。

再度、ふれあいの水辺に戻り、イシガイの運動会の結果発表。69cm 進んだ貝が優勝でした。まっすぐに進まず曲がっ



ていましたが、思いのほか進んでいたのには驚きました。また、二枚貝が足を出したり引っ込めたりしながら進む姿も驚きでした。なお、参加者には表彰状を渡しました。



最後に、スタッフがまとめとして、川の生態系の話をしました。また、川の水を入れた瓶にシジミやタニシを入れておき、元の水よりも、きれいに澄んでいるところを観察してもらいました。

【見つけたもの】

タイワンシジミ、マシジミ？、カワニナ、ヒメタニシ、イシガイ、ドブガイ、クロベンケイガニ、クサガメ、ミシシッピーアカミミガメ、コサギ、アオサギ など